

アークエルテクノロジーズが中部電力の実証プロジェクトに EV充電マネジメントシステムを提供

EVバスの運行にEV充電マネジメントを活用しEVバスの社会実装への貢献を目指す

EV導入の課題であるEV充電マネジメントの実証実験

EV充電器を運用し、EVバス運行予定や系統制約やEV充電状態に応じてEV充電量をコントロール

アークエルテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役：宮脇良二、以下「AAKEL」）は「デジタルイノベーションで脱炭素化社会を実現する」を企業目的に掲げ、気候変動問題の解決とビジネスとの両立を目指し、事業展開する福岡発のクライメートテック企業です。

AAKELは、**2022年10月1日より、中部電力株式会社（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長 社長執行役員 林欣吾、以下「中部電力」）のEVバス実証プロジェクト（以下「本実証」）へ当社が開発したシステムを提供いたします。**本実証ではEVバスの運行にAAKELのEV充電マネジメントを活用し、EVバスの社会実装への貢献を目指して参ります。

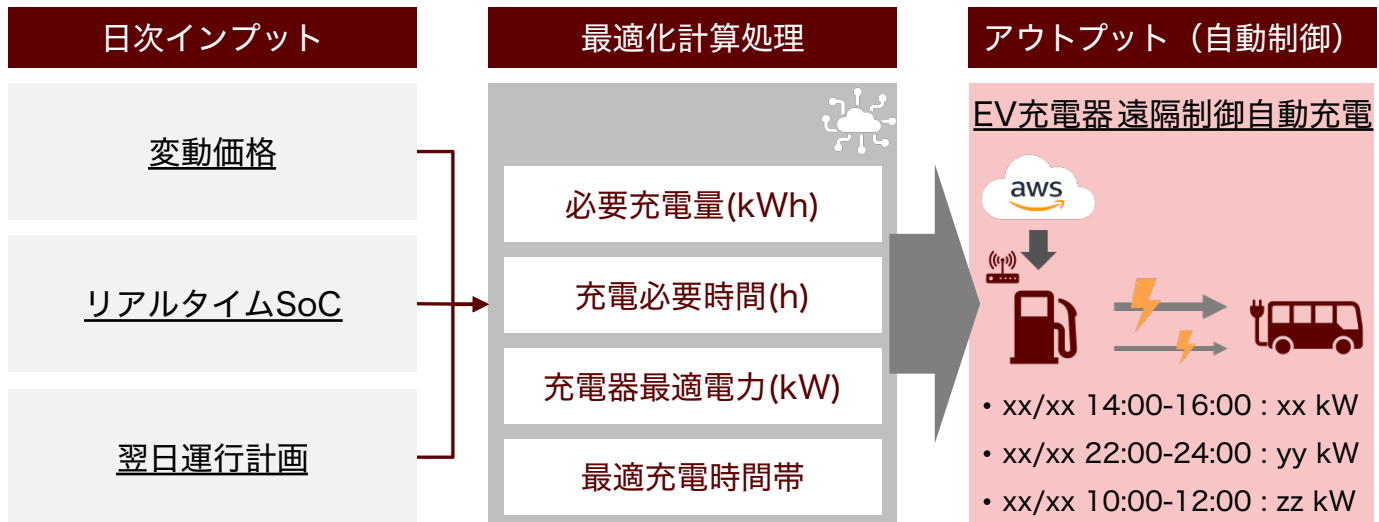
背景

日本政府は、2020年10月に温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を2050年までに実現することを宣言し、「グリーン成長戦略」を策定しました。その取組みの一つとして、電動車の普及を推進しています。一方で電動車の導入にあたっては充電設備の設置や契約電力の確認、充電時間の考慮等が必要になります。

現状、企業等が複数台のEVを所有し、充電する際、系統の制約により一度に充電できる電力量が建物毎に決まっている等、EV充電マネジメントを中心とした課題から、容易にはEV導入を進められない状況です。そうした課題の解決に向け、AAKELは、**EVの運行スケジュール等を考慮し複数拠点・複数台のEV充電最適制御が可能なシステムを開発しました。**

今般の本実証を通じて、車両のSoC（State of charge）や契約電力に応じ、また公共交通機関であるEVバスの運行スケジュールを前提とした充電タイミングや充電出力を自動で調整できる仕組みを構築することで、EVバスの導入推進に取り組んでまいります。

当社開発システムの概要



アークエルテクノロジーズ株式会社 代表取締役社長：宮脇 良二 コメント

EVシフトが世界で進むなか、日本も遅れずにEVの導入を加速させなければなりません。一方で、前提となるEV充電器の普及に向けては、日本ならではの障壁も多くなかなか進まない現状があります。加えて、EV充電は再エネ由来の電力でなければ意味がありません。

弊社はそれらの課題を解決すべく、IoTと機械学習を活用した仕組みを開発しました。

中部電力様と共にそれらの仕組みを公共交通機関での実証を開始し、我が国の公共交通機関におけるEV普及に貢献できることを楽しみにしております。

お問い合わせ先

商号：アークエルテクノロジーズ株式会社	資本金：30百万円
事業内容：カーボンニュートラルに向けたデジタルサービスの提供、 カーボンニュートラルを目指す企業向けコンサルティング	従業員数：35名
設立年月：2018年8月	広報担当：淵田（ふちだ）・西山（にしやま）
本店所在地：福岡県福岡市中央区大名2丁目6番11号 Fukuoka Growth Next	TEL：092-732-7551 MAIL： pr@aakel.co.jp
代表者：代表取締役CEO 宮脇 良二	URL： https://aakel.co.jp/